

# 「第3期江別市地域福祉計画」（素案）市民意見募集 結果について

（市民意見募集期間：平成27年1月5日から平成27年2月4日まで）

平成27年3月

江別市 健康福祉部 福祉課

## 市民意見募集の結果概要

### ■意見の募集結果

募集期間	平成27年1月5日（月） から 平成27年2月4日（水） まで
提出者数	2名
提出件数	6件

### ■意見に対する考え方の区分

区分	意見の反映状況	件数
A	意見を受けて案に反映したもの	1
B	案に意見の趣旨が既に盛り込まれているものと考えられるもの	2
C	案に反映していないが、計画の展開にあたって参考等とするもの	3
D	案に取り入れなかったもの	
E	その他の意見	
合 計		6

■いただいたご意見の内容と市の考え方（提出いただきましたご意見は、できるかぎり原文のとおり掲載しております。）

■募集期間を過ぎて提出されたご意見は、参考受理とさせていただきます。

連番	意見の内容	市の考え方	区分
1	<p>本計画の基本理念は「お互いさま、みんなで支えあう地域づくり」と提言し、平成25年度の評価結果では関係機関との連携・情報提供が思うように進まず、市民自らが地域福祉に参加できる機会の情報発信が問題視されている。</p> <p>現在「江別市安心生活まちづくり推進事業」において、大麻地区のまちづくりワークショップ等を行っているが、ここでも地域福祉についても大きな課題となっている。いま自治会役員及び民生委員・児童委員の高齢化と担い手不足が進行して、活動が十分でない状況にあるので、これらを支援し補う枠組みとして、地域包括支援センターを中心とする「まちまかない会社」を法人が自立して運営し、見やすいホームページづくりやフェイスブック等で情報を発信して、特に退職世代の地域での活動を積極的に促すことなどを提案しているが、この協働のまちづくりに地域福祉及び高齢者総合計画も取り込んだ策定を行い、当事業をモデルケースとして位置づけ検証してみたいかがでしょうか。</p> <p>なお、「まちまかない会社」は住民、商店主、宅建業、NPO及び福祉団体等で組織する地域コミュニティであり、住民・町内会及び地域学生などが原則ボランティアで活動し、生活支援、子育て支援、除雪支援、住替支援など地域でのネットワークを構築することになる。行政</p>	<p>ご提案のありました「まちまかない会社」の手法については、大麻地区における高齢化の進展、住宅の老朽化などのさまざまな課題解決に向け、大麻地区をモデルとして、住みかえ支援などの実践的な取り組みを進めるため、地元住民団体や不動産、介護、大学などの関係者らで構成している「江別市安心生活まちづくり推進事業運営協議会」の部会である「まちづくり組織検討部会」の中で、まちづくり組織の考え方のひとつの例示として提示されたものと認識しています。</p> <p>「江別市安心生活まちづくり推進事業」は、平成25年度からスタートして、平成27年度中に「まちづくり活動組織」について、結論が出るよう協議を進められているとも伺っておりますことから、その結果を本計画の展開に当たっての参考にしてまいります。</p>	C

	はこれらを支援し、社会福祉協議会も連携して指導していく体制を整える。		
2	<p>ニート・引きこもりへの相談・支援体制</p> <p>今回のアンケートには、前回なかった「ニート・引きこもりへの相談支援体制の充実」の項目が盛り込まれ</p> <p>12.2%の市民が安心して暮らすために大切なことと答えています。当事者・家族にとって相談窓口へ出向くことはかなり敷居の高いことと推察されます。担当者の誠実な対応を望みます。</p>	<p>第1の5(2)や第3の4及び5の基本施策1の④生活困窮者支援対策の推進に記載しているとおり、平成27年4月から施行される、生活困窮者自立支援法に基づく、「生活困窮者自立支援事業」において、事業の委託先である江別市社会福祉協議会及び民生委員・児童委員とも協力し、相談しやすい体制を目指します。</p>	B
3	<p>不登校から引きこもりにつながる可能性があることがあります。不登校の子が学校以外に所属できる居場所づくりが大切と思います。フリースクール等への行政の金銭的な支援をお願いします。</p>	<p>市としての金銭的な支援は難しいと考えておりますが、国において、フリースクールの支援方策への検討が始まっていることから、その状況を注視してまいります。</p>	C
4	<p>情報提供の充実</p> <p>パンフレットや行政の施策の概要版にルビをふって欲しいです。</p>	<p>日常生活に身近な福祉サービスを必要とする方への分かりやすい情報提供のあり方は非常に重要であることから、ご意見を踏まえ、本計画の概要版にルビをふる等、配慮してまいります。</p>	A
5	<p>災害時の支援</p> <p>障がいのある方・認知症の方など環境適応が困難な方に対して優先的に福祉施設等の避難を考えてほしいと思います。</p>	<p>現在、市では、ご提案の件について検討しており、今後も市防災担当部署と連携しながら、災害時の支援が必要な方への避難場所等も含めた支援体制の整備に努めてまいります。</p>	C
6	<p>青少年の福祉体験</p> <p>学校での総合学習、社協のハーフデイボランティアは、地域の中で誰もが安心して暮らせるまちづくりを実体験できる有効な手段だと思い、毎年継続してほしいと思っています。</p>	<p>基本施策6の②青少年の福祉体験の促進に記載しているとおり、青少年の福祉体験の促進に努めるとともに、ハーフデイボランティアスクールの実施主体である江別市社会福祉協議会へ今後も継続して実施するよう要請してまいります。</p>	B